

豊中市まじづくりにぎわい事業助成金（令和3年度の助成事業報告）

☆☆☆9の事業を助成しました☆☆☆

事業名 野外ヨガフェスタ！豊中YogaShala	団体名 アモンジャープロジェクト	助成額 225,000円	事業名 木曜コンサート in 豊南市場	団体名 「木曜コンサート in 豊南市場」運営委員会	助成額 200,000円
概要 (4/29開催) コロナ禍において、健康的なからだづくりと変化する日常のストレス軽減ツールとして、ヨガを野外で実施することでまちのにぎわいの基本となる精神面のリラックスに取り組みました。イベントの実施は、緊急事態宣言の発令によって残念ながら、オンラインでの開催となったものの参加者も多く、人気のあるイベントとして認識できました。今後もヨガを通して心・体ともに健康になることで、まちのにぎわい創出につながることを期待しています。		(9～3月開催) 南部地域の活性化として、豊南市場のサウンドステーションで、ピアノと世界各国の楽器の演奏や子ども達、大阪音楽大学生の出演など、子どもから大人まで楽しめるプログラムで定期コンサートをはじめ、季節・催事コンサートや絵本の読み聞かせなどを行われ、毎回多くの人でにぎわっていました。2年目となり毎週楽しみにしているファンの方も多く見られます。今後も市内外問わず、多世代の交流が進み、まちのにぎわいにつながることを期待しています。	 		
事業名 マナカイフェスタ	団体名 マナカイ	助成額 300,000円	事業名 第1回とよなか☆ときめきフェスタ	団体名 バックステージTOYONAKA	助成額 256,000円
概要 (6/24、9/29開催) ママによるママのためのイベントとして、地域で繋がりのある育児を支援することやママの活躍の場を提供するため、文化芸術センターでベビー向けアイテムの販売やワークショップ、ベビーマッサージなど、参加型のイベントを開催されました。ファイナンスプランナーの相談ブースでは、教育資金として考えなければならぬ事の相談も受け付けており、孤育ての防止や悩み、不安を共有できる場になっていました。非常に多くの参加者が集まっており、市外からの参加も多く、協賛・出店企業も徐々に増えており、今後も様々な観点から育児を支援する企画を期待しています。	 	(7/22開催) 音楽やダンスなどの合同発表会を、特にシニア世代の社会参加や生きがいづくりを目的に、市民文化活動を応援するイベントを男女共同参画推進センターすつぷホールで開催されました。フラダンスや篠笛の演奏、脳トレ体操など様々な発表が行われ、コロナ禍により会場の人数制限はありましたが満席で大変盛り上がっていました。さらに多くの人に鑑賞してもらえるよう、動画での配信も行われています。こちらは身近に感じた課題から事業化された取組みで、今後も様々な観点で発展することを期待しています。	 		
事業名 ソングタイムカプセル2021	団体名 おかまち・まじづくり協議会	助成額 300,000円	事業名 ふらっと親子フェス in 千里中央	団体名 家族日和デザイン	助成額 276,000円
概要 (5/6～11/14開催) コロナ禍の子どもたちが、今、まさに感じていることを、メッセージや写真で表現したものをもとに、市内在住のミュージシャンが作曲・演奏し、プロモーションビデオを作成し、演奏・YouTube配信されました。みなさんに曲を聴いてもらい、これまでの日常がいかに素晴らしいのかを感じてもらうことで、今後のまちのにぎわいへの参加が期待できます。また、3年後に子どもたちに同じ曲を聴いてもらい、その気持ちを再確認してもらう予定もあります。こうした活動を継続することで「豊中愛」の醸成に期待しています。	 	(2/23開催) 社会から孤立し、無力感を抱えやすい乳幼児子育て中の母親が「ふらっと」気軽に参加し、地域の人もつなげるため、A&Hホールでイベントを開催されました。子育て世帯が困ったときに相談できる窓口を知ってもらうための資料が配布されたり、子どもたちのステージ発表を取り入れられたことなど、地域団体とのつながりも生まれていました。今後も新たなスタッフのつながりや子育て中の方が日常でのつながりに発展し、にぎわいづくりの企画が拡充されることを期待しています。	 		
事業名 豊南市場子供コンサート 音楽の動物園	団体名 株式会社スマートシンフォニー	助成額 76,000円	事業名 庄内さくらアートプロジェクト第2弾（庄内への想いが文字であふれるアート展）	団体名 庄内さくらアートプロジェクト実行委員会	助成額 300,000円
概要 (8/21開催) 緊急事態宣言で遠くに出かけられない子どもたちに、豊南市場のサウンドステーションで音楽イベントを開催されました。動物をテーマに作曲されたファミリー向けコンサートで、演奏中にカラーションを交えることで、聴く人が音楽からその動物をイメージできる企画となっていました。子どもたちの参加は少なかつたものの、参加者は、多く大変にぎわっていました。今後も子どもたちの想像力や感性を育成しながら、楽しめる企画を期待しています。	 	(8/3～8/27展示開催) 庄内さくら学園として統合される3つの小学校の子どもたちに、「庄内」や「学校」に抱く「不安」や「期待」など素直な気持ちをパネルや文字アートで作成し、サンパティオ内に展示されたイベントです。子どもたちの率直な気持ちを隠さず展示されていたことから、地域のにぎわいづくり等のヒントが得られたと考えます。今回の企画で3つの小学校がある地域同士をつなげるきっかけとなっており、今後も庄内さくら学園の開校に向けて、地域の人々がつながる企画を期待しています。	 		
事業名 朗読×音楽コラボレーション 豊中の民話と音楽が織りなす世界「勝部の狐と村人」 ～豊中の民話「狐先触れ々々人足出しそること」より～	団体名 音の中プロジェクト実行委員会	助成額 187,000円			
概要 (4/10開催) 豊中市南部地区に伝わる民話をもとに楽曲を制作され、ピアノとパーカッションの生演奏に乗せて民話を朗読するコラボレーションイベントを開催されました。子どもたちに地元の民話と音楽を融合させて聞かせることで、子どもたちの感性や個性を育み、自己表現力や協調性を養う可能性を感じられました。今後、地域の人たちに親しまれる事業として、また、子どもたちの「豊中愛」につながるよう期待しています。					